

求
む
!

『それからの街』に挑戦する人！

第16回

AAF 戯曲賞 受賞記念公演

The drama competition by the Aichi Arts Foundation

第16回AAF戯曲賞大賞受賞作品『それからの街』上演に当たり、俳優・ダンサー・パフォーマーなど、出演者として参加していただける方を募集します。(選考有・若干名)

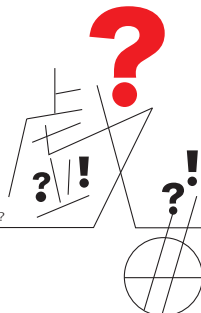
「戯曲とは何か？」をコンセプトにリニューアルしたAAF戯曲賞。『それからの街』は音楽と演劇の境界を探り、新しい演劇の形に挑戦した意欲作です。この作品をどのような演出でどのように上演するのか…
きっと一筋縄ではいかないこの舞台を一緒に作り上げる仲間になっていただきたいのです。
選考も身体を動かしたり、創作したり、楽しいものになりそうです。我こそは、という方のご応募をお待ちしております。

演出家より

戯曲賞の審査では1年目と同様に「戯曲とは何か？」というテーマのもと、ドラマとは何か、そして演劇とは何かという原理的な部分も含めて、さまざまな議論がなされました。さあ、次は上演です。ドラマトゥルク・長島確さん、振付家・福留麻里さんの心強いお二人とともに、受賞作に向き合いながら「戯曲／ドラマとは何か」を実践する仲間を探しています。ご応募、お待ちしております。

鳴海康平（第七劇場代表）

What is Drama?
戯曲とは、何か？



【公演概要】第16回AAF戯曲賞受賞記念公演『それからの街』

□作：額田大志 □演出：鳴海康平（第16回AAF戯曲賞審査員・第七劇場代表）

□公演日：10月21日～23日 □会場：愛知県芸術劇場 小ホール（愛知芸術文化センター地下1階）

募集概要

- 出演者（俳優・ダンサー・パフォーマー）として『それからの街』に関わりたい方
- 稽古日程（下記参照）に参加が可能であること。（※特に、10月17日～23日は必須）
- 出演料：200,000円（税込／交通費・宿泊費含む）

★『それからの街』の戯曲は劇場ウェブサイト（下記 URL）、
愛知芸術文化センター 1階アートライブラリーでご覧いただけます。
戯曲を読んだ上でご応募ください。
<http://www.aac.pref.aichi.jp/gekijyo/syusai/>（『それからの街』ページをご覧ください）
※戯曲の閲覧が難しい場合はご相談ください。
※その他の役割（演出助手、制作助手等）に関わりたい方もご相談ください。

選考日時

- 下記日時の中からいずれか1回
- ①5月7日（日）18:00～21:00
 - ②5月8日（月）13:00～16:00
 - ③5月8日（月）18:00～21:00
- 締め切り後、ご希望を調整し時間帯・集合場所等を連絡します。
 - 第一希望、第二希望の時間帯をエントリーシートにご記入ください。
 - オーディションワークショップ（120分程度）の後、一人ずつ面談を行います。

応募方法：別紙エントリーシートに記入し、
郵送またはメールでお送りください。
エントリーシートは劇場ウェブサイト、
愛知芸術文化センター地下2階アートプラザで
入手できます。
オーディションに関するお問合せ：ws3@aaf.or.jp

締切日：4月28日（金）必着

『それからの街』稽古予定表

※時間・場所は都合により変更になる可能性があります。

月日	時	場所等
6月10日	18:00～21:30	
6月11日～14日	13:00～20:00	愛知県芸術劇場リハーサル室等
7月20日～25日	13:00～20:00	
8月11日～13日	終日	Théâtre de Belleville (津市・美里町)
9月28日～10月1日	13:00～20:00	
10月3日～15日	13:00～20:00	愛知県芸術劇場リハーサル室
10月17日～23日	終日	愛知県芸術劇場小ホール

『それからの街』クリエイションメンバー



鳴海康平（演出家、第七劇場代表）

1979年生まれ。早稲田大学在籍中の99年、劇団を設立。これまで国内20都市、海外4ヶ国6都市（韓国・ドイツ・フランス・台湾）で作品を上演。2004年ロシア、08年香港にて研修。12年から1年間、ポーラ美術振興財団在外研修員としてフランスに滞在。14年、三重県津市に拠点を移し、新劇場 Théâtre de Belleville を開設。



福留麻里（ダンサー、振付家）

1979年東京都生まれ。2001年、新鋪美佳と共に身長155cmダンスデュオ「ほうほう堂」を結成。あいちトリエンナーレ2013にて委嘱作品『ほうほう堂 @ おつかい』を発表。2014年、本格的にソロ活動を開始。日常的な仕草にもとづく微妙なニュアンスの動きや、何度も繰り返せる単純な動きなど、何気ないものごとの中にある、そこにしかない面白味や凄みを見つめ、探し出しながら踊っている。



長島確（ドラマトウルク、翻訳家）

1969年生まれ。日本におけるドラマトウルクの草分けとして、さまざまな演出家・振付家の作品に参加。戯曲（古典から新作まで）と上演（演出・演技）のせめぎ合いのなかで、一緒にいろいろ考えるパートナー。上演台本の翻訳にベケット、サラ・ケイン、ヨン・フォッセ、シェイクスピア、イブセンなど。近年はアートプロジェクトにも積極的に関わる。